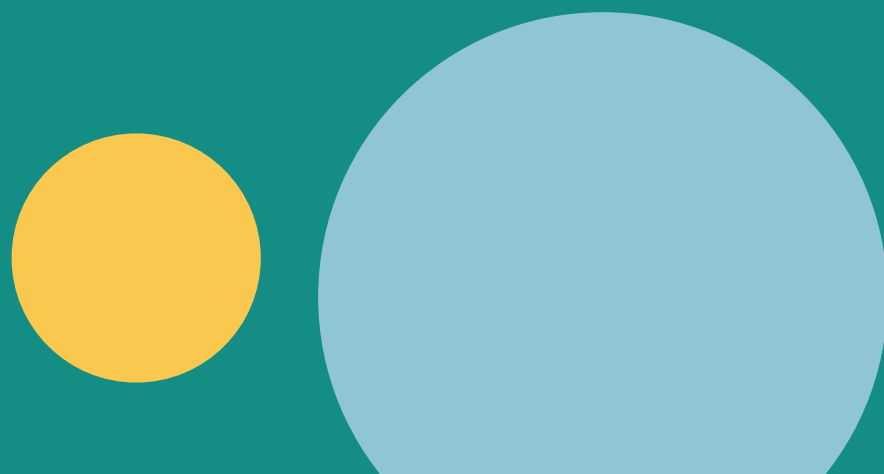




信州学び円卓会議 ともつくミーティング

～長野県の教員を支え、子どもの学びを支えるために何ができるか～



「信州学び円卓会議」とは

先行き不透明な時代にあって、これまでの一律一様の学びから
児童生徒一人ひとりのニーズ、個性、認知・発達特性に応じた
「個別最適な学びへの転換」が求められています。

こうした現状を踏まえ、有識者、教育実践者等で
「長野県の子どもたちにとって最適な学びのあり方」をテーマに議論を進めながら、
県民一人ひとりが学びについて自分事として考える機運を醸成するとともに、
それぞれの主体における取り組みにつなげていくことを目的とした会議です。

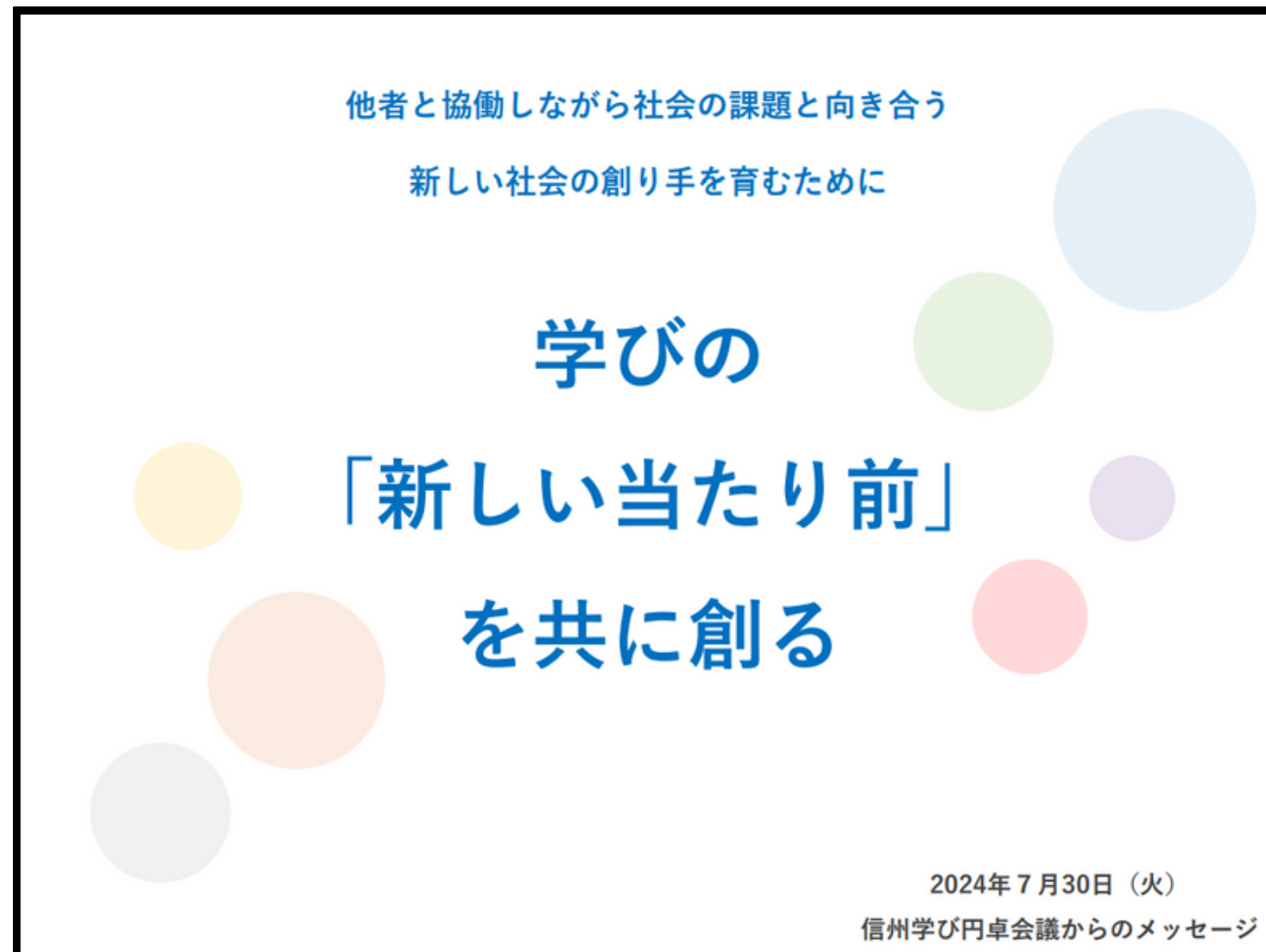
参考①：第4次長野県教育振興基本計画



長野県教育委員会

個人と社会の
ウェルビーイングの実現
一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」を
とことん追求できる「探究県」長野の学び

参考②：信州学び円卓会議からのメッセージ



学びの 「新しい当たり前」 を共に創る

取り組むべき3つの方向性と、
6つの重点取り組み項目

今年の信州学び円卓会議のテーマ

長野県の学びにかかわるプレイヤーや取組を...

つなげる

支える

広げる

対話を通してみんなでつながり、
みんなで支え合い、みんなでアクションを広げていく

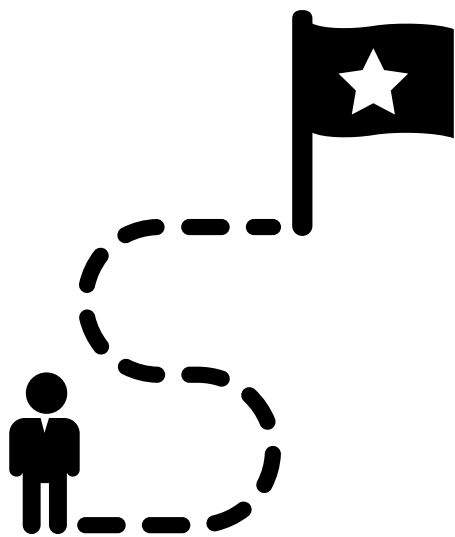
今日は、
「これからの信州の学びを共に創る
”ともつく”ミーティング」

先生・保護者・大学生・その他社会人も
行政職員・円卓会議委員も・・・みんな仲間！
一緒に、「学びの『新しい当たり前』を共に創る」ための場所

今日、目指すは
「理想に向かうためのアイデア」

「わたしができること」

を多様な仲間と共に考え、
新たな一歩のヒントを創ること



今日のテーマは...

学校における 働き方改革

を通して共に創る学びの未来

今日のテーマは...

(子どもの学びをトコトン支えるために)

**教員の“荷”を
下ろすには**

を通して共に創る学びの未来

今日の大きな流れ...

インスピレーション

長野県の教員の
置かれている現状の共有



現状を表すデータや/どんな議論
を県が行っているのかを共有しあ
い、考え始める上でのヒントや観
点を発見。

作戦会議

理想とそのための
実行アイデアを考える



長野県の教員の「荷を下ろせるこ
と」「負担軽減できそうなこと」
とそれを「実現するためのアイデ
ィア」をみんなで作戦会議

私にできること

まずできること、
始めたいことを宣言



みんなで考えたアイデアを
元に、まず自分は何からできる
か、始めたいと思うかを宣言

グラウンドルール

1, 「わたし」を主語にして話そう！

~あなたの“ふっー”は、誰かの発見かも~

2, “違い”を楽しむ！

~"違う"からこそ生まれる気づきを楽しもう~

3, 安心して話せる場を、みんなで。

~積極的リアクションと守秘義務。



チェックイン 自己紹介

トーキンググッズについて

「話をする人が手に持つアイテム」



学び応援キャラクター「信州なび」
©長野県教育委員会信州なび助

<使い方>

- ①グッズを持った人だけが、発言できる！
(持っていない人は勝手に話すのはNG！)
- ②話をしたくなったら、グッズを手取るか、人から受け取る。
- ③話が終わったら...
トーキンググッズを誰かにお渡しする



チェックイン-自己紹介！

- ① 「ニックネーム・呼び名」
- ② 「所属」(会社、学校等)
- ③ この場への期待/意気込み

※誰かが発言したら拍手！トーキンググッズも使ってみよう！

1人30秒程度で！



チェックイン！

学校の現状を見たり聞いたりする中で「先生たち大変そうだな...」
「これはもう少し負担軽減できるのではないか...？」と思うこと
エピソード

※誰かが発言したら拍手！トーキンググッズも使ってみよう！

1人1分程度で！



- ご挨拶 -

長野県知事 阿部 守一様

インスピレーショントーク

長野県の学校の働き方 改革の現状について (各種調査・取組のご紹介)

ご紹介する調査・取組

信州学び円卓会議
教員向けアンケート

子どもの学びを
トコトン支える
県民の会

**教員視点で、
何が学校で負担となり、
何を求めているのか**

信州学び円卓会議 教員向けアンケートの概要

信州学び円卓会議 教員向けアンケート

- 目的：**働き方改革等の検討に教員の声を反映する
- 期間：**2024年7月上旬から概ね1か月
- 対象：**小中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する管理職及び教員
- 配布数：**2028名
- 回答数：**1054名（教員776名、管理職278名）

アンケート結果概要（一部）

- ①先生方の仕事への満足度は高い
- ②業務でストレスを感じているのは事務業務が多すぎることで、
保護者の懸念に対応すること
- ③予算が増加した場合は「教職員の増員による学級規模縮小」を
望んでいる
- ④種々の研修の必要性は感じているが、「日程が合わない」ことを
懸念事項として感じている

**教員の荷を下ろすために、
どんなことが議論されているのか**

作戦会議セッション

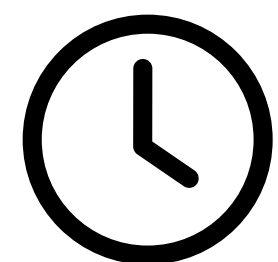
ギャラリートーク

まとめワーク 「私にできることは？」

全体シェア



宣言を全体にシェア！



1名60秒位を目安に

